


分野	12	就学前教育・保育	通番 11
施策	121	就学前教育・保育基盤の充実	
5年後の目標		待機児童が解消し、子育てをしながら安心して仕事を続けられる環境が充実している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	保育所施設整備事業		会計	款	項	目	4,072,140	福祉政策室
			一般	3	2	2		
事業の概要								
待機児童を解消するため、公立保育所の増築・改築等の整備を行うとともに、民間保育園の設立を支援し、入所定員の増員を図ります。 開田保育所は、移転・新築で平成28年4月、神足保育所は、増築・改修で平成30年4月、新田保育所は、移転・新築で平成31年4月にそれぞれ開所します。								


平成30年度の取組							
D (取組)	指標(～H29年度)	公立保育所の耐震化割合(5施設)				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	3/5(神足、深田、滝ノ町保育所が耐震化済) (平成26年度)	目 標	4/5 (開田保育所耐震化完了)				
		実 績	4/5	4/5			
	指標(H30年度～)	公立保育所及び民間保育園の利用定員合計				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	1,510 (平成29年度)	目 標			1,708	1,911	1,911
		実 績			1,740		
	指標	4月1日時点待機児童数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
28(平成26年度)	目 標	60	50	20	0	0	
	実 績	78	60	72			
<ul style="list-style-type: none"> ・新田保育所の移転・新築工事が平成31年4月完了予定です。 ・民間の認可保育園(さくらんぼ保育園)に対して施設整備費の助成を行いました。 					 <p>平成31年4月完成予定の新田保育所</p>		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応員
		—	—	
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・増築・改修工事の完了に伴い、平成30年4月から神足保育所の入所定員を増員しました。(120名→180名) ・新田保育所の移転・新築工事は平成31年3月完成の予定で作業を進めてきましたが、自然災害等の影響により工事に遅れが生じました。安全を最優先に工事を進めるため、工事完了時期は4月下旬、新田保育所の新園舎への移転は5月の連休明けになる見込みです。 ・平成30年4月にひまわり保育園(定員72名)が開園しました。 ・平成31年4月にさくらんぼ保育園(定員60名)が開園予定です。 ・公立、民間保育園(小規模含む)をあわせた定員は、平成30年4月1日時点で1,740名(昨年度比230名増)となっています。
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所の増改築や民間保育園の設立支援により利用定員は年々増加していますが、保育所入所申込率の大幅な上昇により平成30年4月1日時点で72名(昨年度比12名増)の待機児童が生じていることから、引き続き待機児童解消に向けた取り組みが必要です。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・新田保育所の移転・新築工事は平成31年4月に完了し、令和元年5月に開園予定です。(定員120名→180名 全ての公立保育所の耐震化完了) ・待機児童の解消に向け、民間の認可保育園の新規開設を支援します。

分野	12	就学前教育・保育	通番 12
施策	121	就学前教育・保育基盤の充実	
5年後の目標		待機児童が解消し、子育てをしながら安心して仕事を続けられる環境が充実している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	もうすぐ一年生事業		会計	款	項	77,689	学校教育課
			一般	10	1		
事業の概要							
幼稚園や保育所等の幼児が小学校へ体験入学することで、小学校入学後の生活習慣や学習習慣の変化に対応できるようにします。 また、保育所・保育園・幼稚園等と小学校の教員による、保幼小連携会議で互いの教育・保育内容の理解を深め、就学前機関から小学校への円滑な移行を図ります。							

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	「もうすぐ一年生事業」に取り組む小学校数				単位	校
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	10(平成26年度)	目標	10	10	10	10	10
		実績	10	10	10		
<ul style="list-style-type: none"> 給食体験と学習体験等を各小学校で実施しました。給食は、5年生或いは1年生、他の学年も含めて教室やランチルームで喫食しました。 1年生の教室にて1年担任による一斉指導スタイル(授業はじまりの挨拶、先生の指示、挙手して発言する、プリントの配布、授業おわりの挨拶)の授業体験をしました。 「長岡京市保幼小連携会議」にて、「もうすぐ1年生体験入学事業の趣旨理解」「講演会」「実践報告(長岡第九小・神足保育所・きりしま保育園)」「日常的な取組等の協議」を行いました。(市内10小学校、5幼稚園、13保育所(公立及び認可)約70名参加) 						 <p>もうすぐ1年生小学校体験</p>	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応員
		—			—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 幼児にとっては、入学前に小学校生活をイメージでき、期待を膨らませると共に小学校生活への不安の解消につながる良い機会となった。 教職員にとっては、互いの指導・支援方法を交流することで、就学前機関から小学校への接続を意識し、幼児・児童への指導支援に活かされている。 小学校児童にとっても、幼児と交流する中で、自己肯定感を高める良い機会となった。 全体研修会やもうすぐ一年生の具体的な活動を通し、小学校と就学前機関との連携が深まり、接続カリキュラムの重要性を共通理解ができました。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 給食体験は、幼児のアレルギー対応の徹底が課題です。 公開保育や小学校の研究発表会に、『就学前の生活と教育』という視点での積極的な教員の参加が望まれます。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容の充実をはかることにより、全ての小学校と市内の全ての保育所、保育園、幼稚園が参加して、教職員のみならず保護者も含め、保幼小連携の意識を高めると共に、積極的な教員の参加を促していきます。